

令和5年度 年間授業計画

田無工業高等学校

教科・科目	工業 製図		単位数	2
対象学年・組	1学年都市工学科	教科担任	CA:門馬・幸田	
教科書 ・ 副教材	土木製図			
	土木製図ワークノート			

教科 工業 の目的：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の意義や役割を理解する	工業における技術に、興味・関心を高める	広い視野と倫理観を持って工業の発展を図る意欲的な態度を育む

科目 製図 の目的：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
製図用具の正しい使い方を学び、正確に、明瞭に、迅速に図面を作成するための基礎、基本の技術を習得する	図面に示された記号の意味や、定められた製図の規格についても習得する	丁寧に図面を仕上げることができる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	時数
1 学 期	A 単元「製図について・製図の規格について」 【知識及び技能】 <製図する意味と必要性、製図の規格を理解する> 【思考力、判断力、表現力等】 <寸法の意味を理解する> 【学びに向かう力、人間性等】 <集中力が途切れず描くことができる>	・指導事項 説明をしながら、製図台・製図道具の使用方法を指導 ・教材<土木製図> ・一人1台端末の活用 等 <1人1台の製図台の活用>	【知識・技能】 <製図に対して興味を持っている> 【思考・判断・表現】 <実際に寸法確認を行っている> 【主体的に学習に取り組む態度】 <準備から片付けまでの一連動作を行える>	○	○	○	4
	B 単元 「線の種類と用途・文字の記載と基本事項」 【知識及び技能】 <線の太さを変えずに引ける> 【思考力、判断力、表現力等】 <線を等間隔に引ける> 【学びに向かう力、人間性等】 <集中力が途切れず描くことができる>	・指導事項 <製図台に用紙を設置し、ドラフターで等間隔に線を引く練習> ・教材<土木製図・ワークノート> ・一人1台端末の活用 等 <1人1台の製図台の活用>	【知識・技能】 <線の濃さ・太さの均等> 【思考・判断・表現】 <線を等間隔に振り分けている> 【主体的に学習に取り組む態度】 <準備から片付けまでの一連動作を行える>	○	○	○	8
	定期考査						
	C 単元「線の練習課題・文字の練習課題」 【知識及び技能】 <線の太さを変えずに引ける> 【思考力、判断力、表現力等】 <線を等間隔に引ける> 【学びに向かう力、人間性等】 <集中力が途切れず描くことができる>	・指導事項 <実際にケント紙へドラフターで等間隔に線を引く練習> ・教材<土木製図・ワークノート> ・一人1台端末の活用 等 <1人1台の製図台の活用>	【知識・技能】 <線の濃さ・太さの均等> 【思考・判断・表現】 <線を等間隔に振り分けている> 【主体的に学習に取り組む態度】 <準備から片付けまでの一連動作を行える>	○	○	○	8
	定期考査						

2 学 期	<p>E 単元「写図と読図について」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p><縮尺を変えずに写図できる></p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p><図面の構造物をイメージできる></p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p><集中力が途切れず描くことができる></p>	<p>・指導事項</p> <p><ワークノートP.37を写図する></p> <p>・教材<土木製図・ワークノート></p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p><1人1台の製図台の活用></p>	<p>【知識・技能】</p> <p><線の濃さ・太さの均等></p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p><寸法線・数字をきれいに描ける></p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p><準備から片付けまでの一連動作</p>	○	○	○	8
	<p>F 単元「写図課題」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p><縮尺を変えて写図できる></p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p><三角スケールを読み取る></p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p><集中力が途切れず描くことができる></p>	<p>・指導事項</p> <p><ワークノートP.37を寸法を変え写図する></p> <p>・教材<土木製図・ワークノート></p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p><1人1台の製図台の活用></p>	<p>【知識・技能】</p> <p><線の濃さ・太さの均等></p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p><寸法を読み取ることができる></p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p><準備から片付けまでの一連動作を行える></p>	○	○	○	16
	定期考査						
	G 単元通り	G 単元通り	G 単元通り	○	○	○	16
定期考査							
3 学 期	<p>J 単元「第三角法と演習課題」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p><第三角法を描くことができる></p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p><3次元で物体を捉えている></p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p><集中力が途切れず描くことができる></p>	<p>・指導事項</p> <p><3次元の対象物を2次元画像として平面に正しく示す></p> <p>・教材<土木製図・ワークノート></p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p><1人1台の製図台の活用></p>	<p>【知識・技能】</p> <p><線の濃さ・太さの均等></p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p><3次元の物体を平面で処理できる></p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p><準備から片付けまでの一連動作を行える></p>	○	○	○	10
定期考査							70